



ロータリーは 分かちあいの心

2007～2008年度
国際ロータリーのテーマ
ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

会長／関野政人 幹事／山本讓二

DISTRICT 2510 JAPAN

留萌ロータリークラブ 会報

2007▶2008 WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ会長テーマ

みんなロータリーが好きだから
出会いを創造し活性しよう

プログラム

- 本日
「税務行政」のIT化への取組～e-tax
留萌税務署 署長 廣末 勝幸様
- 次週予定
「ロータリー財団月間」によせて
国際奉仕委員会

会員誕生日
11月14日 串橋 伸幸

No. 2303

第18回 11月14日



前
例
会

会員総数	51名
出免会員	5名
欠席会員	15名
出席率	73.91%

前
々
会

第15回 10月17日	
欠席会員	0名
メイクアップ	0名
修正出席率	100%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

📝 会長報告

- 森町北電地熱発電所見学例会、函館地区年次大会には多数の会員・奥様の参加をいただき、ありがとうございました。二ノ宮例会運営委員長さん、平間会員、西谷(恭)会員さんにはお世話になりました。
- 昨日第5回定例理事会及び第3回クラブ協議会を開催致しました。理事会にて2008～09年度役員理事選考委員会設置について話され大沼、川上、清水、河部、中川以上5氏を指名、委員長は大沼会員にお願いします。

📬 幹事報告

- 1) 国際ロータリー第2510地区酒井ガバナー及び大会実行委員長より、地区大会参加の礼状

が届いております。

- 2) 深川RC、妹背牛RCより11月の例会案内が届いています。

会報受領先

- ・芦別RC 2421号～2424号
- ・赤平RC 2285号～2288号
- ・深川RC 2376号～2379号
- ・妹背牛RC 1963号～1966号

👤 委員会報告

社会奉仕委員会

西谷(英)委員長

先日、皆様にFAXにてお知らせ致しましたロータリー農園の収穫祭ですが、天候不順により発育不良のため収穫祭を中止いたします。なお、長ネギだけは育ておりますので、鍋をする方はご自由に取りに行ってください。



3分間情報……………

会員研修委員会

澤田委員長

「ロータリー財団の父 アーチ・クラumpf」

ロータリー財団の父と呼ばれるのは6人目のRI会長、アーチ・クラumpfです。「ロータリーが基金を作り、全世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野で、何か良い事をしようではないか」と国際大会で提案しました。数ヵ月後に、この新しく誕生した基金は米貨26ドル50セントの最初の寄付金から始まりました。基金がやがてロータリー財団に発展して行くその過程の出来事です。

アーチ・クラumpfは、貧しい少年時代を経て米国オハイオ州クリーブランドで実業家として大をなした立志伝中の人物です。またアーチ・クラumpfは、フルート奏者(14年間クリーブランド交響楽団の団員でした)やスポーツマンとしても活躍しました。アーチ・クラumpfは、国際ロータリーの新定款を起草する委員会の委員長として、地区を設け、地区ガバナー職を作り、年次大会を確立した書類の責任者でした。またアーチ・クラumpfは、全ロータリークラブのために標準ロータリークラブ定款と細則を書き上げ、それは1915年に採択されました。ロータリーの初期においてアーチ・クラumpfの私仕事は、ロータリーの発展に結果を築くことでした。1912年から1915年にかけてアーチ・クラumpfは、クリーブランドRC会長を務めました。友人達はアーチ・クラumpfを次のように評していました。「寝てもさめてもロータリー」の人間であると。当時からアーチ・クラumpfは、いつも将来に目を向け、ロータリーが良い仕事を続ける方法を模索していました。アーチ・クラumpfがロータリーにかけの夢の一つを初めて吐露したのは、クリーブランドRCの会長の時でした。クラブ会長として最後のスピーチで、今後クラブが多くのごことが出来るように、「非常時基金」を作る事を提案しました。「非常時基金」の提案が、4年後のアトランタで、「ロータリーが基金を作り、何かよい事をしようではないか」という形で再登場します。各地のロー

タリアンが目先の世界の出来事に目を奪われている第1次世界大戦中にアーチ・クラumpfの夢が提起されたということは、アーチ・クラumpfの理想の素晴らしさのあかしと言えましょう。第1次世界大戦のさなかにロータリー財団の原型が誕生したのです。

アーチ・クラumpfは次のように述べました。

「われわれはこの財団を今日明日の時点ではなく、何年、何世代の尺度で見るべきです。なぜなら、ロータリーは何世紀にもわたる運動だからです」

アーチ・クラumpfは、ロータリーを不滅にする手段として基金を構想しました。「ロータリー財団は、レンガや石の記念碑を建てるものではない。例えば大理石に碑銘をきざんだとしても、やがては崩れてしまうだろう。真鍮を使ったとしても、いつかは汚れてしまうだろう。だが、心の中に碑銘をきざむなら、そしてロータリー精神と神を恐れ同胞を愛する気持ちを吹き込むならば、われわれのきざんだものは永遠に輝き続け、文明の続く限り、ロータリーを不滅のものとするだろう。」

1930年代には、大恐慌が世界中で影響を及ぼし始めました。そのとき財団は、最初の補助金を授与したのです。



ニコニコBOX……………

- 地区大会参加大変ありがとうございました
昨日の理事会、クラブ協議会及び本日例会欠席します
関野会長
- 地区大会参加大変ありがとうございました
山本幹事
- 地区大会GSEフォーラムでパネラーを務めさせて頂きました
田中会員
- 100%出席表彰いただきました
対馬会員
- 写真頂きました 地区大会出席ありがとうございました
二ノ宮会員
- 写真頂きました 出席表彰35年ありがとうございました
渡部会員
- 地区大会DVD頂きました
西谷(英)会員
- 写真頂きました
バスのなかご無礼いたしま

した 渡邊、中川会員

• 写真頂きました

平間、宮井、西谷(恭)遠藤、清水
森(幹)、斉藤、行徳会員

• 佐藤さんに写真頂きました 深瀬会員

• 麻雀大会で代打ち優勝しました 鈴木会員

前 回	457,000円
今 回	44,000円
累 計	501,000円



次に年次大会の感想ですが、今回は参加クラブ紹介が無く、気の抜けた感があります。どうせであれば、会長を紹介した時にクラブも立たせる方法を取れば良かったと思います。せっかく大声を張り上げて挨拶をするのを楽しみにしていたのに残念でなりませんでした。来年に期待します。

最後に沿岸バスの運転手さんには運転ご苦労様と言いたいと思います。また皆で楽しく旅行をと願っています。

渡邊裕久会員

10月19日午前8時留萌を出発。バスはさわやかな秋空のもと順調に進み、昼過ぎには一度高速を降りて、白老にて昼食をとりました。すばらしいステーキで、とても美味しかったです。その後、再び高速に乗り、一路北海道電力森地熱発電所へ。そこで北電の方から説明を受けた後、1時間ほど見学しました。

地熱発電と言うのは、化石エネルギーを全く利用しないので環境に優しいクリーンなエネルギーだと言う事と、その反面立地する場所が自然景観に恵まれた場所という事で周辺の環境との調和に色々気を使っていると感じました。

その後バスは本日の宿泊地、函館湯の川温泉に向かいました。夕食は市内居酒屋で取りましたが、味・量ともに満足いくものでした。ただし、料金が予想を上回ったようで、Y幹事がこぼしていました。その後、沿岸バスさんに酔っ払いのわがままに付き合っただき、函館山に夜景を見に登る事になりました。私は過去3度函館山に登り夜景を見ましたが、今回が1番きれいでした。

 プログラム・・・・・・・・

「地区大会参加報告」

鈴木康伸会員

本来であれば喪に服していなければならない例会運営委員長さんが出席しての移動例会、年次大会で、年次大会の報告をせよとの命令を受けましたので、報告をさせていただきます。私は今回で20回目の地区大会参加となります。1年だけ入院中のため欠席致しました。まず、この企画立案したY幹事さんと例会運営委員長さん、バス運行にてお世話になった沿岸バス西谷会員さん、それと移動例会で発電所を見学させて頂いた、平間会員さんにお礼申し上げます。

初日19日は午前8時食産さん前を出発。総勢24名参加で旅を致しました。バスが走り出すとすぐに某副会長さんが音頭を取り、昼食後すぐにY幹事さんが100円ショップヘトランプを買いに走りまわりました。たしか昼食を取った白老町から森町までの間だったと思います。勝ったか、負けたかは判りませんが、ちなみに、某副会長さんは帰りのバスには乗っていませんでした。金の工面か、または勝ち逃げかと色々噂はとびましたが、あくまでも遊びでしたので悪しからず。

話をもどしますが、今回の移動例会の地熱発電所の見学は、私にとって大変勉強になりました。火山国日本にとって地熱発電は最高と思っておりましたが、コストがかかるとの事で、やはり商売だから仕方が無いとの見解に達しました。発電所の仕組みを教えていただいた北電さんに感謝いたします。

第17回 11月7日(水) 天候/晴

翌日は、午前9時より地区大会に参加しました。参加クラブの紹介は、会長を登壇させてきちんと紹介していただきましたので、時間はかかりましたが非常に印象に残る参加クラブ紹介だったと思います。午後は沿岸バス西谷所長のご好意に甘えて函館の名所を回って楽しい時間を過ごさせて頂きました。夕方、懇親会出席後降り出した雨の中、留萌へ向け出発。帰りのバスの中で、後ろの席で数名の酔っ払いが騒いで皆様方に多大なご迷惑をお掛けした事を酔っ払いを代表してお詫び申し上げます。申し訳ありませんでした。

遠藤光一会員

10月20日の地区大会出席のため、25名沿岸バス貸切で、19日午前8時(株)食産から出発。幌糠から高速に乗り一路函館に向け走りました。途中、砂川SA、苫小牧SAにてトイレタイムを取りました。車中では、飲み物、つまみ等が配られ、怪しげなトランプゲームをする人が数名居りました。昼食は白老で、焼肉レストラン牛の里でのサーロインステーキでした。牛肉の量が多くて食べきれないほどでした。

予定時間より少し遅れて森町にある北電地熱発電所に到着、移動例会と言う事で施設所長から地熱での発電する装置の説明を受け、1時間ほど施設の説明を受けました。

地熱発電所を後に、宿泊場所のある湯の川温泉、平成館海洋亭に着いたのが午後5時30分でした。チェックインをしましたが、ロビーにはロータリーバッチを付けた紳士が、また韓国の女性も多く見受けられました。チェックイン後に夕食の夕食会があり、料理は沢山ありましたが、昼のステーキのせいであまり食が進みませんでした。夕食後は、数名が夜のネオン街に消えていき、残った人で函館山の夜景を見てきました。

地区大会当日は、出席もせずゴルフに行った悪人が4名もおりました。しかし夜の懇親会にはちゃんと出席していました。1時間ほどの立食パーティーでしたが、午後6時30分懇親会会場を出て、帰路に着きました。車中は満腹のた

めか、アルコールのせいか殆どの方が寝ていましたが、一部うるさい方もおりました。

留萌に午前1時30分ころ無事到着、今回の地区大会参加にお世話になりました、北電の平間会員、沿岸バスの西谷会員には大変お世話になりました。

清水 隆会員

久しぶりの函館での開催、楽しく参加させて頂きました。本大会プログラムの中で、並行プログラムとして午後1時よりGSEフォーラムに、関野会長、二ノ宮会員、そして私とで参加しましたので報告いたします。

当初、少数の参加という事でしたが、会場が満席になり、関心の深さが伺われました。このフォーラムでは、今年度第3300地区マレーシアからの受け入れで地区大会終了後帰国、当地区派遣チームは、明日出発とのことで、両チームの自己紹介と抱負が話され、その後学友2名の方から当時の思い出やその後どう役立ったのかの報告がありました。

大会プログラムで珍事があり、川中公(留萌)と間違った名前前で公表されたことに関し、山本幹事が大変立腹され抗議されておりましたが、フォーラムは進行し、田中公一地区国際奉仕委員のタイGSEを受け入れたホストファミリーとしての発表となりました。

私は当時会長でしたので、懐かしく報告を聞かせて頂きました。小さな地方のクラブでも他クラブ(小平、羽幌RC)と協力で受け入れ可能である事、ホストファミリーの受け入れも苦労がありますが、協力が得られる事。チームメンバーで病気になった場合の対応の仕方。帰国後メンバーとの交流等の報告をされ、失敗談として例会でタイ国歌の斉唱が出来なかった事を話され、非常に感銘を受けました。聞いている皆さんも真剣に聞かれているのを見ていて、田中委員の発表がどんなに素晴らしかったのか、察して頂けると思います。

留萌RC代表としての発表と考えれば、田中会員に大きな拍手を送りたいと思います。ご苦労様でした。以上発表をおわります。